



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

令和5年度 7月号



【7月は防災教育月間です】

7月になりました。今年も吉備真備駅前を七夕飾りが彩っています。本校中学部の生徒たちが書いた短冊も風に揺らめいています。



私たち倉敷まきび支援学校や真備町にとって、7月は豪雨災害のとき。倉敷市の復興計画では、5年目の今年度が一区切りの時期で、小田川の堤防や復興防災公園[※]なども完成予定です。（※学校の西隣に建設中。公募していた名称が「まびふれあい公園」と決定したそうです。）ハード面の整備はずいぶん進んできましたが、地域の自然や文化を守り継承しつつ、再生と発展をめざすためにも、被災で得た教訓を忘れることなく、防災の取組を続けていかなければならないと思っています。本校では、7月を防災教育月間とし、子どもたちの実態に応じて取り組んでいます。

地域でも様々な行事が実施されており、7月7日には中学部の生徒が真備支所で献花を行います。また、この日は、まびふれあい公園に併せて整備されている河川敷に芝生を植えるイベントにも、生徒の一部が参加する予定です。



昨年度、(株)中本屋工務店及び(株)伊予銀行様からいただいたご寄附で、スノーレンを購入しました。輸入品のため時間がかかっていましたが、先日納品され自立活動室①に納めました。さっそく肢体不自由部の子どもたちが、リラックスして楽しむ様子が見られました。小学部から高等部まで(もちろん大人も)楽しめるものです。様々な機会にしっかり活用させていただきたいと思っています。ありがとうございました。

(校長 梶谷 淳子)

田植え 6月20日(火)

6月20日(火)に、中学部3年生が田植えを行いました。学校前の別府さんの田んぼをお借りして行うのも、今年で3年目になりました。

田植えをするのはほとんどの生徒が初めてで、田んぼの中になかなか入れない生徒もいました。しかし、友達が入っているのを見て、入れる生徒が増えていきました。最終的には、ほとんどの生徒が田んぼに入り、稲を植えることができました。生徒たちで残っていた部分をすべて植えることができ、別府さんからもお褒めの言葉をいただきました。夏の間も稲の生長をしっかり観察し、秋には稲刈りもする予定です。今後も様々な体験をしてもらいたいと思います。



中学部では、地域の様々な方にお世話になりながら活動しています。先日は、銭太鼓の演奏を聞かせてもらいました。また、昨年教えていただいた「真備・船穂総踊り」を運動会で披露しました。お世話になった地域に貢献できるよう、これからも頑張りたいと思います。

(中学部教頭 廣畑 彰洋)